

福島原発震災 2011・ディスカッション・ペーパー (SDP1-10)

20110628 NPO 安全工学研究所 加部隆史

2011.03.11 以降の東日本震災の衝撃と、福島原発震災に係わる情報非対称性から2カ月程関連情報を収集し、未確定情報ではありますが、危害の甚大さから、5月16日にSDP1をはじめとして、情報発信を始め、本日でSDP10に駆け足でたどり着きました。

安全が技術的に確保されない際の、これだけの社会的影響を考えると、無視できません。又、余りにも問題が多岐多様にわたる為、全体像を過去・現在・未来の時間軸と併せてとらえる事は容易ではありません。但し、この過酷事故の供給から何かを学ばなければ、又元の鞆へ戻ってしまうでしょう。みらいを背負うこども達に、我々が何を残せるか、が問われます。

SDP1-10は、あくまで福島原発震災そのものとその影響を考え討議する為の、ディスカッション・ペーパーであり、情報提供と考察を主体としています。原発賛成・反対も未だ述べていません。仮説の検証は、これからの作業です。先ずは、工学者・技術者を中心として心ある方々、そしてSDP1-10の問題提起に賛同される方々を集め、そこで議論を煮詰めて、次の段階へ進む予定です。同時に、SDP11以降は、複数の方々の情報も含めて、継続して情報発信を継続します。

題材は未だいくらかでもありますが、取敢えずSDP1-10の内容を以下に振り返ります。

加部隆史のブログ <http://tkabeblog.seesaa.net/> にアップ済み：

SDP1 福島原発震災と情報の非対称性	安全指針の設定問題、放射能に対する誤情報
SDP2 設計基準と残余のリスク	SAは工学的に起り得ないとしていた
SDP3 日本はロボット大国？	日本のロボット政策の是正必要
SDP4 失敗の本質と設計論	同じ失敗が歴史的に繰り返されている
SDP5 核燃料サイクルを考える	人は核を制御できるのか？不合理で妥当性無し
SDP6 孫正義の自然エネルギー財団	遅れながらも民主導
SDP7 科学から見る日本社会と教育の原点	矛盾容認社会、ムラ社会のこれから？
SDP8 エネルギーシフト	日本はグローバルの潮流から取り残されている
SDP9 第三者機関の意義と役割	妥当性検証は本来の第三者によってのみ可能
SDP10 TAの必要性	危険社会のこれから

